

<<花のきもの>>

图书基本信息

书名：<<花のきもの>>

13位ISBN编号：9784061838567

10位ISBN编号：4061838563

出版时间：1986

出版时间：講談社

作者：宮尾登美子

版权说明：本站所提供下载的PDF图书仅提供预览和简介，请支持正版图书。

更多资源请访问：<http://www.tushu007.com>

<<花のきもの>>

内容概要

繭から糸となり布に織られ、娘の晴着となり、嫁に贈られ、時を経て蒲団に再生され、はたきとなって命数が尽きる。

絹の巡る道が暗示する、女と着物のかかわりの深さと面白さ。

数々の花模様の着物とそれに纏わる女たちの姿を鮮やかに描き、着物への愛着と思い出が美しく繰り広げられる、半自伝的エッセイ。

<<花のきもの>>

作者简介

宮尾 登美子（みやお とみこ、1926年4月13日-）は日本の小説家。
高知県高知市生まれ。
高坂高等女学校卒業。

再婚した夫と上京し、1962年『連』で婦人公論女流新人賞を受賞。
1973年の『權』が太宰治賞を受賞し、出世作となる。

彼女のテーマは一貫して女性であり、自伝ものから出発して、さまざまな分野に新境地を開いている。

『東福門院和子の涙』など、歴史の中で弄ばれるはかない女性を描いた歴史小説が有名。
一方で、『クレオパトラ』では、悪女や悲劇のヒロインとして作りあげられてきたこれまでのクレオパトラ像を否定して、新たな解釈で浮かび上がらせている。

2005年の大河ドラマ『義経』は、『宮尾本 平家物語』と『義経』が原作。
2008年には『天璋院篤姫』が大河ドラマ化されたほか、2009年から放送の『坂の上の雲』には外部
諮問委員として参加している。

<<花のきもの>>

版权说明

本站所提供下载的PDF图书仅提供预览和简介，请支持正版图书。

更多资源请访问:<http://www.tushu007.com>